

令和3年度第1回かわさきパラムーブメント推進フォーラム 次 第

日時：令和3年4月22日（木）

9時30分～11時30分

会場：川崎市役所 第3庁舎18階 大会議室

- 1 あいさつ
- 2 かわさきパラムーブメント及び英国ホストタウンにおける昨年度の主な取組
・・・資料1、2
- 3 かわさきパラムーブメント及び英国ホストタウンにおける今年度の主な取組
・・・資料3、4 別紙
- 4 その他

【資 料】

- ・ 座席表
- ・ かわさきパラムーブメント推進フォーラム委員等名簿
- ・ 2020東京オリンピック・パラリンピックに向けたかわさきプロジェクト
外部連携会議開催運営等要綱
- ・ **資料1** かわさきパラムーブメントにおける昨年度の主な取組について
- ・ **資料2** 英国ホストタウンにおける昨年度の主な取組について
- ・ **資料3** かわさきパラムーブメント等における今年度の主な取組について
- ・ **資料4** 英国ホストタウンにおける今年度の主な取組について
- ・ **別 紙** 英国代表チーム事前キャンプにおける新型コロナウイルス感染症対策について

令和3年度第1回かわさきパラムーブメント推進フォーラム

座席表 (第3庁舎18階大会議室)

【リモートによる参加者】

成田委員長
伊藤顧問
大塚委員
須藤委員
杉山委員
中澤委員

オリ・パラ室
職員

議事録作成
業者

傍聴席

傍聴席

傍聴席

傍聴席

傍聴席

傍聴席

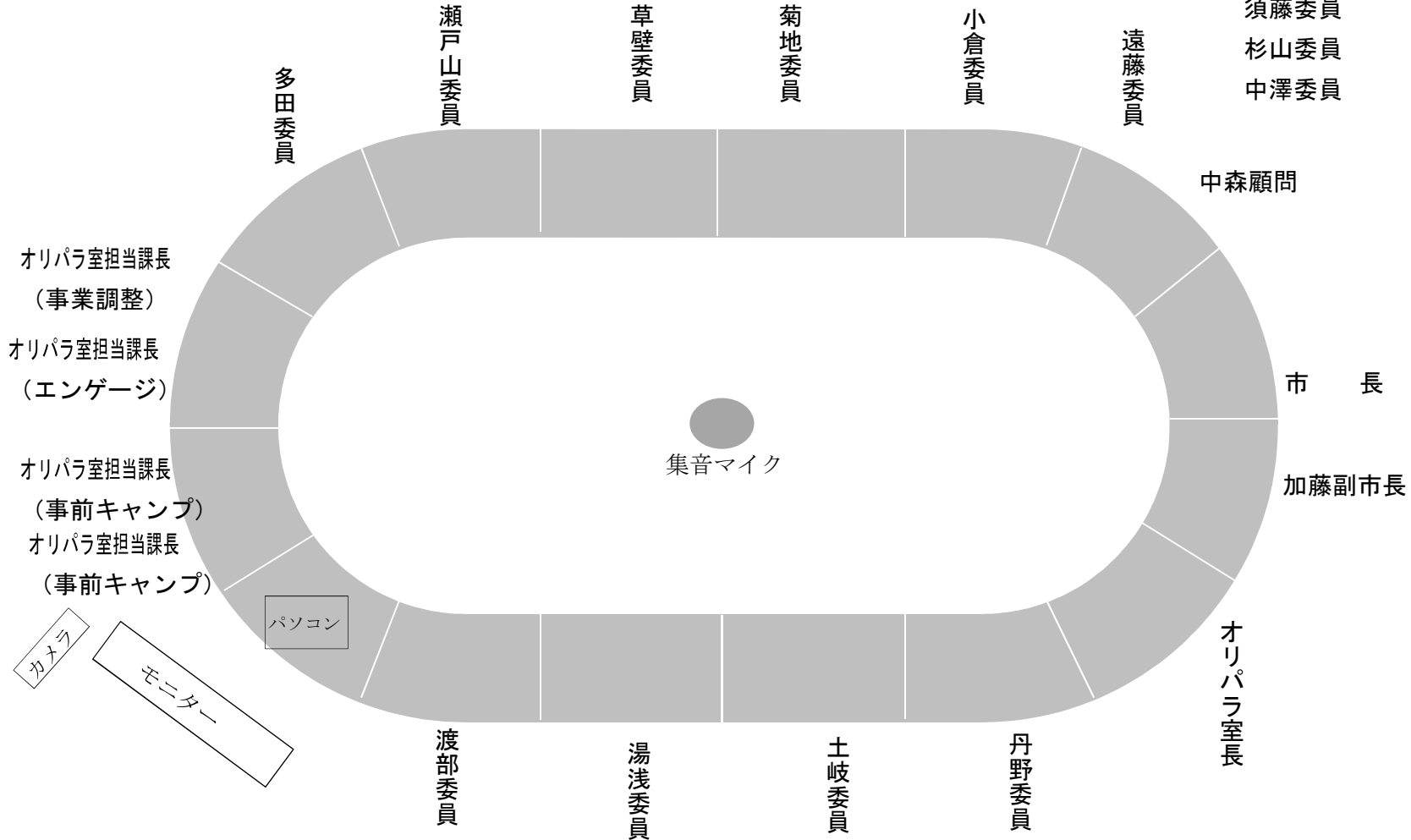
傍聴席

傍聴席

傍聴席

傍聴席

オリ・パラ室
職員



コミュニティ推
進部長(代理)

市民スポーツ
室長

市民文化振興
室長

教育委員会
学校教育部
担当部長

オリ・パラ室
課長補佐

オリ・パラ室
担当係長

出入口

出入口

かわさきパラムーブメント推進フォーラム 委員名簿

令和3年4月1日現在

●共同委員長

氏名	役職等
ふくだ のりひこ 福田 紀彦	川崎市長
なりた まゆみ 成田 真由美	パラリンピアン 川崎市市民文化大使

●顧問

(五十音順)

いとう こういち 伊藤 弘一(新任)	公益財団法人日本オリンピック委員会 事務局次長
なかもり くにお 中森 邦男	日本パラリンピック委員会 事務局長

委員

(五十音順)

えんどう けん 遠藤 謙	株式会社サイボーグ 代表取締役社長
おおつか くんべい 大塚 訓平	株式会社オーリアル 代表取締役
おぐら けいこ 小倉 敬子	公益財団法人かわさき市民活動センター 理事長
きくち ただし 菊地 正	特定非営利活動法人高津総合型スポーツクラブSELF 副理事長
くさかべ ごろう 草壁 悟朗	川崎商工会議所 会頭
くりやま やすこ 栗山 八寿子(欠席)	市立長沢中学校 校長
すぎやま なおみ 杉山 尚美	株式会社ぐるなび 理事
すどう 須藤 シンジ	特定非営利活動法人ビーブルデザイン研究所 前代表理事
せとやま しょうじ 瀬戸山 正二	有限会社オフィスブライヤ 代表取締役
ただ あきひこ 多田 昭彦	公益財団法人川崎市文化財団 理事長
たんの のりかず 丹野 典和	公益財団法人川崎市スポーツ協会 事務局長
どき かずし 土岐 一利	株式会社チッタエンタテインメント 取締役
なかざわ まこと 中澤 信	株式会社バリアフリーカンパニー 代表取締役社長
やまざき りょう 山崎 亮(欠席)	株式会社studio-L 代表取締役 (公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 街づくり・持続可能性委員会 委員
ゆあさ まなみ 湯浅 真奈美	ブリティッシュカウンシル アーツ部長
わたなべ しゅうじ 渡部 修治(新任)	公益財団法人川崎市身体障害者協会 事務局長

2020東京オリンピック・パラリンピックに向けたかわさき プロジェクト外部連携会議開催運営等要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、東京オリンピック・パラリンピックに向けたかわさきプロジェクト外部連携会議（以下「会議」という。）の運営に関し、必要な基本事項を定める。

(目的)

第2条 市長は、東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、誰もが暮らしやすく、多様な主体の協働による新しい社会の構築をめざす「かわさきパラムーブメント」の基本理念の具現化にあたり、次に掲げる事項について、会議委員の意見を求める。

- (1) スポーツ・健康
- (2) ダイバーシティ（多様性）
- (3) 文化
- (4) 地域活動・ボランティア
- (5) 社会・経済
- (6) エンターテインメント
- (7) 福祉
- (8) おもてなし
- (9) その他、市の発展に資する事柄

(会議の構成者)

第3条 会議は、次に掲げる者で構成する。

- (1) 学識経験者
- (2) 関係団体代表者
- (3) 市民

(開催期間)

第4条 会議の開催期間は、平成28年10月1日から令和4年3月31日までの期間とし、必要に応じて開催することとする。

(庶務)

第5条 会議の庶務は、市民文化局オリンピック・パラリンピック推進室において処理する。

附 則

この要綱は、平成27年10月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年3月17日から施行する。



めざせ！やさしさ日本代表！
かわさきパラムーブメント

かわさきパラムーブメントにおける昨年度の主な取組について①

資料 1

1 商店舗等におけるかわさきパラムーブメント実践事業

実施目的

障害者、外国人、高齢者をはじめとした店舗利用者に対し、ソフト面及びハード面のバリアフリーに対応している店舗を発信し、誰もが店舗を利用しやすいまちを目指していく。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す2つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー③社会的バリアが解消されたまち～ユニバーサルなまち～

実施概要

【かわさきパラムーブメント実践店】

市内店舗がソフト面又はハード面のバリアフリーに対応していることを、「かわさきパラムーブメント実践店」として、ステッカーの掲出、本市HPでの掲載等を通じて発信する。セブンイレブン等のコンビニエンスストア、郵便局、金融機関等、市内774店舗が登録済。



ステッカー

【バリアフリー情報発信】

本市とぐるなびとの共同でのバリアフリー調査、本市HPやぐるなびHP、アクセシブル・ラボHPでの掲載を通じて、市内飲食店のバリアフリー状況に係る情報を発信する。

飲食店62店舗について、バリアフリー状況情報（インフォシート）を本市HP「かわさきパラムーブメント実践店」店舗ページ等で発信する。



インフォシート

〈主なアクセシブル情報〉

- ・駐車場
- ・エントランス
- ・店内（テーブル、通路等）
- ・トイレ 等

2 庁内職員を対象とした心のバリアフリーに関する研修

実施目的

職員一人ひとりが心のバリアフリーについて考え、自分ごととすることで、庁内におけるかわさきパラムーブメントの理念を浸透させるために実施した。

⇒レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～の形成へ

実施概要

ユニバーサルマナー検定3級取得の研修を実施。

日時

令和3年3月17日（水） 10時から12時まで（実地による研修） 61名受講
15時から17時まで（オンラインによる研修） 22名受講

3 感覚過敏の方を対象としたバリアフリー化事業

実施目的

発達障害に多く見られる感覚過敏の特徴のある方が安心して買い物などに行ける環境を整備することや、社会における発達障害や感覚過敏の認知度を高めることを目的とする。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す2つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー③社会的バリアが解消されたまち～ユニバーサルなまち～

【クワイエットアワー実施に向けた取組】

実施概要

将来的な商業施設等におけるクワイエットアワーの実施に向け、当事者へのアンケートや商業施設への調査を実施した。

●アンケート

日常生活において、様々な場所・場面等での困りごとやクワイエットアワーについて、当事者の本人及び家族を対象としたアンケート（回答数311名）及びヒアリング（10名）を実施した。

●商業施設への調査

感覚過敏の専門家による商業施設の現地調査を実施。調査後に各施設担当者と意見交換を行い、当事者を受け入れる上で必要な点などを確認（調査日及び調査施設）

令和3年2月22日（月） イトーヨーカドーグランツリー武蔵小杉店
アトレ川崎

令和3年3月 8日（月） NOCTY（ノクティプラザ1・2）

令和3年3月12日（金） グランツリー武蔵小杉店



調査の様子

【カームダウン・クールダウンスペースの設置】

「カームダウン・クールダウンスペース」をとどろきアリーナ（メインアリーナ）とカルッツかわさき（エントランス及びホール）に設置した。

※カームダウン・クールダウンスペース

周囲の音や光、においなどにより感情やストレスが高まった時に、外からの音や光、視線を遮ることができ、気持ちを休ませ落ち着かせる居心地の良いプライベートな空間。

運用開始日： とどろきアリーナ：令和2年10月1日（木）

カルッツかわさき：令和3年4月1日（木）



カームダウン・クール
ダウンスペース



めざせ!やさしさ日本代表!

かわさきパラムーブメント

かわさきパラムーブメントにおける昨年度の主な取組について②

4 親子サッカー教室&パブリックビューイング

実施目的

見た目ではわかりにくいことなどから、周囲から誤解を受けやすいと言われている発達障害に対する理解の促進や、誰もがスポーツや旅行が楽しめる社会の実現を目指すため実施した。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す3つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー③社会的バリアが解消されたまち～ユニバーサルなまち～

レガシー④誰もがスポーツ・運動に親しんでいるまち

実施概要

一昨年度、「サッカー&ユニバーサルツーリズム」を共に開催した、川崎フロンターレ、JTB、ANA、富士通と連携し、運営スタッフが発達障害に関する研修を事前に受講することや参加者が静かに落ち着くことのできる「スヌーズレン」を設置することなどで、安心して参加できる環境の実現を図る。

開催日 令和2年11月21日(土)
場所 等々力陸上競技場
参加者 40組86名(うち子ども40名)



サッカー教室



パブリックビューイング

5 心のバリアフリーに係るエピソード発信事業

実施目的

市民が自ら実践、体験、発見した「心のバリアフリー」に該当する行動等のエピソードの発信を通じて、発信者及び受信者の「心のバリアフリー」に対する理解の深化及び実践等への行動変容につなげていく。

⇒レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

実施概要

市民が実践した、受けた、発見した「心のバリアフリー」に該当する行動等のエピソードを募集し、市HPで「心のバリアフリーエピソード集」として1ヶ月ごとに発信。また、四半期ごとに、投稿エピソードの中から「みんなに実践してほしいエピソード」を選定し、市HP上で公表する。

実施期間 令和2年11月から令和4年3月まで
令和3年3月末現在 応募件数71件

「みんなに実践してほしいエピソード」として選定された事例

- ・視覚障害者が、外出時に小学生にサポートを受けた事例
- ・吃音がある子どもを持つ親が、
吃音があっても強く生きる人を見て勇気づけられた事例



エピソードの紹介HP

6 助けあいアプリ「May ii」(メイアイ)

実施目的

街中での移動に関して困っている人とサポート可能な人をマッチングするアプリを活用することで、移動困難な方の行動範囲を広げることや、市民の行動変容を促すために実施する。

⇒レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

連携内容

●「May ii」コンテンツと本市既存事業との連携

時期 令和2年12月から令和3年2月まで

「May ii」のミッション機能を活用し、アプリユーザーにかわさきパラムーブメントに係る周知を行った他、「心のバリアフリーエピソード事業」の広報等を実施した。



May iiでの本市関係ミッション配信

7 パラムーブメントアクション(かつてにおもてなし大作戦)

実施目的

市民活動や地域活動へ受動的に参加する人や潜在意欲がある人などを対象に、かわさきパラムーブメントや英国おもてなしに関する自身の「やりたいこと」をマイプロジェクトとして実践することを通じて、かわさきパラムーブメントの理念浸透を図る。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す全てのレガシー形成へ

その中でも特に3つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー⑥多様な主体が地域づくりに貢献しているまち

レガシー⑧来訪者が「行って良かった」と思えるまち

実施内容

「ゲストからキャストへ」をキーワードに、市民が自らの持つ資産(特技・趣味等)を活かして、かわさきパラムーブメントや英国事前キャンプのエッセンスを加えたおもてなしを身近な人に振る舞うことで川崎の暮らしを楽しくする参加型のプロジェクト創発を目指した取組で平成30年度にスタートし、令和3年1月23日は「かつてにおもてなしテレビ」と題して、これまでに創発されたマイプロジェクトをオンラインでお披露目した。

また、令和3年3月21日には参加者による振り返りの会をオンラインで開催した。

【かつてにおもてなしテレビ】

日時 令和3年1月23日(土) 13時から15時50分まで

内容 これまでに創発されたマイプロジェクトを個別にお披露目し、テレビ番組風にオンライン配信を行った。

プロジェクト数 30

再生回数 2,282回(令和3年4月1日現在)



かつてにおもてなしテレビ

かわさきパラムーブメントにおける昨年度の主な取組について③

8 プリティッシュ・カウンシルとの連携事業

実施目的

本市のホストタウンである英国の公的な国際文化交流機関プリティッシュ・カウンシルと連携し、あらゆる人が音楽に親しみ、創造性を発揮できる社会の実現を目的に実施する。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す3つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー⑤誰もが文化芸術に親しんでいるまち

レガシー⑦誰もが職業等を通じて社会参加できる環境

【ドレイク・ミュージックによる「すべての人に開かれ、誰もが参加できる音楽文化の創造に向けたプログラム」】

実施概要

●誰もが参加できる音楽ワークショップの実践セミナー

日時 令和3年3月9日（火）17時から18時30分まで
令和3年3月16日（火）17時から18時30分まで

内容 音楽家や音楽教育に係る教員などを対象として、障害のあるなしに関わらず児童が音楽を楽しむことができる参加型ワークショップを開催するために必要な障害の社会モデルの考え方を伝えるほか、テクノロジーの活用方法の紹介などのセミナーを開催した。

●障害のある人を対象とした音楽ワークショップのファシリテータ育成トレーニング

日時 令和3年3月11日（木）17時から18時30分まで

内容 平成31年3月又は令和元年12月に実施したトレーニング受講者を対象として、それぞれの取組が抱える課題や疑問について講師が助言するほか、音楽ワークショップの企画・運営方法についての研修を実施した。

●インクルーシブルな音楽ワークショップ用教材の作成

令和3年度に予定している音楽を通じたインクルーシブ教育に活用する教材を開発するため、ベースとなる過去の教材やガイドブックを日本語へ翻訳した。

【ストップギャップ・ダンスカンパニーによる「ダンサー、ダンス講師向けオンライン・トレーニング」】

実施概要

ダンサーやダンス講師を対象として、障害のある方と一緒にダンスをする上で必要な考えや障害のあるなしに関わらず全ての人を対象としたダンスのワークショップを実施する上で必要な知識・スキルを構築するために英国のダンスカンパニー「ストップギャップ・ダンスカンパニー」によるオンライン・トレーニングを実施した。

開催日時 令和3年3月1日（月）19時から21時まで
令和3年3月8日（月）19時から21時まで
令和3年3月15日（月）19時から21時まで
令和3年3月22日（月）19時から21時まで

9 共生社会ホストタウンサミットin多摩川

実施目的

隣接自治体とともに先導的共生社会ホストタウンである世田谷区と連携し、国や共生社会ホストタウン登録自治体とともに、障害理解を深め、共生社会の実現を推進することを目的として開催。併せて、共生社会の実現に向けた障害の社会モデルの考え方への理解浸透を図ることを目的としたイベントを開催する。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す3つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

実施概要

日時 令和3年1月30日（土） セレモニー 13時から16時30分まで
イベント 10時から17時まで

場所 セレモニー iTSCOM STUDIO & HALL 二子玉川ライズ
川崎市及び世田谷区関係者のみ現地で登壇し、他自治体はオンラインで登壇及び視聴
イベント 二子玉川ライズガレリア

【セレモニー】

・共同宣言

共生社会ホストタウンによる共同宣言を福田市長が代表して読み上げ。

・市民等による事例発表

先導的共生社会ホストタウン5自治体の先進的な市民参加の取組を各自自治体の市民が発表

発表自治体：川崎市、世田谷区、福島市、宇部市、飯塚市

※川崎市は、川崎フロンターレの三浦拓真氏が登壇し「サッカー&ユニバーサルツーリズム」の取組について発表。

・パネルディスカッション

コーディネーターに内多勝康氏を招き、「今後の共生社会ホストタウンのあり方について」をテーマに事例発表を行った5自治体の各首長と河合純一JPC委員長によるパネルディスカッションを開催。

【イベント】

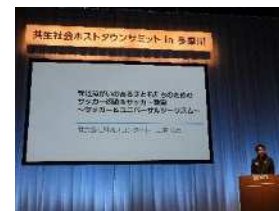
・バリアフルレストラン

車いす使用者が多数派である社会を表現したバリアフルレストランを体験してもらうことで、体験者にわかりやすくかつ誤解を与えることなく、障害の社会モデルの考え方の理解を促し、新たな気づきを与えることを目的として実施し、計31名が体験した。

・川崎市及び世田谷区のパネル展示ブース



共同宣言



市民による事例発表



バリアフルレストラン



かわさきパラムーブメントにおける昨年度の主な取組について④

めざせ! やさしさ日本代表!

かわさきパラムーブメント

10 Colors かわさき展

実施目的

アートを通じて、障害のあるなしに関わらず、作品の魅力を感じ、かわさきパラムーブメントの目指す社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）の実現に向けて開催。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す2つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー⑤誰もが文化芸術に親しんでいるまち

実施概要

公募（施設・団体・個人）による約80名のアーティストや市立特別支援学校の子どもの計132作品を展示。また、期間中に、アーティストによる「ワークショップ」や「パラアート・ミーティング」を開催。今年度も作品の一部を、展覧会終了後入札により、購入可能とした。

なお、閉会后「おうちで Colors かわさき展」と題し、インターネット上で図録のデータをギャラリー風に無料公開するとともに、360°カメラで撮影した会場風景も公開した。

開催期間 令和2年11月11日（水）から21日（土）まで
※16日は休館

おうちでColors かわさき展：令和2年11月24日から公開中

実施場所 ミューザ川崎企画展示室

来場者数 1,158名

おうちでColors かわさき展：1,510ビュー
（令和3年4月16日現在）



会場の様子



配信されたワークショップの様子

11 インクルーシブなかわさきハロウィン開催の支援

実施目的

「かわさきパラムーブメント」の考え方を「カワサキハロウィン」に取り入れダイバーシティへの取組を進める。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す2つのレガシー形成へ

レガシー②心理的バリアが解消されたまち～心のバリアフリー～

レガシー⑦誰もが職業等を通じて社会参加できる環境

実施概要

ZOOMやYoutube Liveなどを活用し、史上初となるオンラインパレードを開催した。オンラインを活用することで、これまで会場に行くことが困難であった方も参加できる“参加したい誰もが参加できるイベント”が実現した。併せてSNSによる投稿やハロウィンアワードを開催した。

また、開催に伴い、障害当事者が出演をする告知用CM動画を作成し、広報を行った。

開催日時 令和2年10月31日（土）18時から21時まで



12 個人型トップアスリート助成制度

実施目的

川崎市に縁のある選手が、神奈川県や競技団体などの支援や強化指定を経て、将来的に各種世界大会等で活躍することで、それを見た市民に感動と喜び、夢を与え、シビックプライドを醸成するとともに、スポーツへの関心を高めることを目的として、選手個人に対して、対象経費の一部を助成するもの。

⇒かわさきパラムーブメントの目指す2つのレガシー形成へ

レガシー⑤誰もがスポーツ運動に親しんでいるまち

レガシー⑨知名度・プレゼンスが高まった川崎

【令和2年度助成概要】

助成額

対象経費の支出に要する費用の2分の1以下（1人あたり20万円以内とする）

助成対象経費

- ・練習に伴う費用
- ・大会出場に伴う費用
- ・競技用具の調達
- ・競技用具の整備

交付対象者

次の要件を全て満たす者

- ・本市内に在住、在勤又は在学している者
- ・将来的に神奈川県や競技団体などの支援や強化指定が期待される者
- ・助成対象期間を通じて選手生活を継続することが見込まれる者

対象競技

今後直近で開催される下記大会の正式種目

※一度に申請できる競技種目は一つ

- ・夏季オリンピック・パラリンピック競技大会
- ・冬季オリンピック・パラリンピック競技大会
- ・ユースオリンピック

助成対象期間

交付決定日から令和3年3月31日まで

募集期間

令和2年7月15日から同年9月18日まで

交付決定日

令和2年10月30日

交付決定者

4競技5名（パラ水泳、パラ陸上、車いすバスケ、BMXレース）



かわさきパラムーブメントにおける昨年度の主な取組について⑤

13 かわさきパラムーブメントプロモーション動画

目的

現実の世界では二足歩行者が多数派で車いす利用者が少数派であるが、その立場が逆転している架空の世界を表現することで、障害の社会モデルの理解浸透を図り、多数派の「当然」が少数派にとっては、「当然」とは限らないということを視聴者に伝え、行動の変革をさりげなく促していくことを目的として制作した。

タイトル

『ようこそ、バリアCAFÉへ～二足歩行者ウォーカーの体験～』

動画監修及び協力、出演者

監修 東京大学大学院 バリアフリー教育開発研究センター
協力 公益財団法人日本ケアフィット共育機構
誰もが誰かのために共に生きる委員会（チーム誰とも）
出演者 なだぎ武氏、寺田ユースケ氏（車いすyoutuber）ほか

Youtubeによる配信

かわさきチャンネルにて公開中

URL : <https://youtu.be/EPNzmSijJ-c>



かわさきチャンネル



英国ホストタウンにおける昨年度の主な取組

広報・プロモーションの取組

かわさき子ども元気プロジェクト英国PRブース

実施目的
 コロナ禍において子どもたちが抱えている「漠然とした不安感」を軽減するため、子どもたちが「元気になる」「目標となる」「楽しみにできる」ことを目的に、令和2年度の修学旅行が中止となってしまった小学6年生を対象とした小学校最後の思い出づくりイベントにおいて、英国事前キャンプ及びパラムーブメントに関するPRブースを出展し、啓発を行った。

実施概要
日程 令和3年3月9日（火）から11日（木）まで
場所 よみうりランド
対象 川崎市立小学校6年生 12,134人
内容
 ・フォトスポットの設置
 ・英国代表チームへの応援メッセージ寄せ書き
 ・事前キャンプに関するパネル展示
 ・グッズの配布（ブース来訪者）缶バッジ（全児童）下敷き



英国PRブース

クリケットを通じた英国文化体験学習

実施目的
 市内における事前キャンプの認知度向上と英国代表チームの応援機運醸成に向けて、（一社）日本クリケット協会の協力により、市立下作延小学校3年生の総合的学習の時間に英国発祥のスポーツであるクリケットの体験を通じて英国文化を学ぶ機会を創出した。

実施概要
日時 令和3年3月23日（火） 10時35分から12時05分まで
場所 川崎市立下作延小学校
対象 3年生 3クラス88人
内容
 児童を2班に分け（一社）日本クリケット協会を講師に講義と実技を実施
講義 英国の文化とクリケットについて
実技 クリケットのルールを知る
 投げ方、打ち方を体験する
 簡単なゲームをする



体験学習（講義）



体験学習（実技）

英国応援の取組

優良情報発信賞 受賞

次の取組は市民と連携し、創意工夫を凝らし効果的な情報発信であることが評価されホストタウンにおける「優良情報発信賞」を受賞し、令和3年2月21日に開催された、ホストタウンサミットにおいて表彰された。

カワサキティ&ローズ

実施概要
 ぬいぐるみとバラを外から見えるように自宅に飾り、その写真にハッシュタグをつけてSNSで発信する市民誰もが気軽に自宅から参加する取組。
 SNSを活用したことにより、直接交流が困難な状況下でも、英国へのおもてなしを可能とし、開始3か月で、まさに100件近くの「ティ&ローズ」が出現。



まちに出現したティ&ローズ

「英国応援動画」の作成・配信

実施概要
 サポーターをはじめとする事前キャンプ受入れ関係者や市民の英国代表チームに対する思いや準備状況を撮影し、川崎市の日常風景とともに英国オリンピック・パラリンピック代表チームに対するメッセージ動画「Message for GB Teams」として発信することで、コロナ禍で直接交流を行えない状況下でも、本市の英国応援への機運は変わらず、準備を尽くして事前キャンプの受入れを心待ちにしていることを伝える。

シリーズ1（テーマ「We will make Kawasaki Your Home」）
 令和2年12月に市内スポットにてサポーターを出演者として川崎と英国の類似点や、英国代表チームへの気持ちを表す内容の動画を送付した。
 令和3年1月に英国へ送付、一般公開



シリーズ1

シリーズ2（テーマ「One Team」）
 令和3年2月に英国事前キャンプを受入れる本市関係者のメッセージをリレー形式により、出演者全員が同一のユニフォームを着用し、それぞれの立場から英国代表チームに向けた思いを語る動画を送付した。
 令和3年3月に英国へ送付、4月14日一般公開



シリーズ2

シリーズ3（テーマ「GOGB! with Kawasaki school children」）
 令和3年2月から市内小学校で英国について学ぶ様子や英国応援の取組、想いの変化などを中心とした動画を送付した。
 令和3年4月14日に英国送付、一般公開



シリーズ3

かわさきパラムーブメントの全市的な推進

● レガシー形成に向けた取組

・eスポーツの活用（新規）

障害の有無に関わらず仮想空間で誰もが一緒にスポーツを「する」「みる」ことができるツールとして、各種団体等と連携しながら体験会の開催などeスポーツを活用した取組を実施する。

・商店舗等におけるかわさきパラムーブメント実践事業（拡充）

昨年度まで別事業として展開していた2事業を一体的に推進し、市内店舗にロゴステッカーの掲出と自らがバリアフリー状況を発信できるバリアフリー状況確認キットを活用し、商店舗等の実践を図る。

・助け合いアプリ「May II」（メイアイ）の活用（拡充）

市内5ヶ所を使用エリアとした試行実施を引き続き実施するほか、専修大学経済学部鈴木ゼミと連携し、ゼミ活動にMay IIを取り入れてもらうことで、地域での普及啓発につなげる。

・クワイエットアワーの実施（拡充）

令和2年度に実施したアンケートや調査を踏まえ、市内商業施設においてクワイエットアワーの実施に向け調整を図る。

・発達障害の方を対象としたサッカー観戦・教室等の開催（継続）

川崎フロンターレ、JTB,ANA,富士通と引き続き連携し実施に向け調整を図る。



親子サッカー体験&パブリックビューイングの様子

など

● 行政サービスと職員の心のバリアフリーの推進

・合理的配慮の提供に向けた取組（新規）

窓口対応等で想定される様々な場面において、職員が合理的配慮の提供を行うために必要な基準等を、既存のマニュアル等を踏まえたうえで策定する。

・多言語及び手話通訳の遠隔コミュニケーション支援ツール（継続）

多言語…各区・支所に機械通訳及びビデオ通訳が可能なアプリを導入したタブレット端末を配置。

手話通訳…各区・支所・行政サービスコーナー等の窓口にはQRコードを設置し、区・支所に配置している端末や来庁者自身の端末で読み込むことで手話通訳者とテレビ電話による通訳が可能。

・オストメイトに対応した前広便座及び簡易水栓の計画的導入（継続）

・職員向けバリアフリー研修の開催（継続）

など

● プロモーション

・かわパラ2021の開催（継続）

かわパラ2021(ラゾーナ川崎) : 令和3年8月22日(日)

中部開催(グランツリー武蔵小杉) : 令和3年9月18日(土)

北部開催(多摩区堀第二公園 たまこみまつり) : 令和3年11月7日(土)

・パラコンサートの開催（継続）

令和3年5月29日(土) カルッツ川崎

・グッズを活用したプロモーション（継続）

・心のバリアフリーに係わるエピソード発信事業（継続）

など

聖火リレー関連

● オリンピック聖火リレー及び出発式

・6月30日(水)に等々力陸上競技場内で聖火リレー出発式を開催。

その後、市内を聖火ランナーが走行。(詳細は右図参照)

・出発式や沿道について地域資源を活用した盛り上げを実施予定。

● パラリンピック聖火フェスティバル

・8月14日(土)に等々力緑地内で各区で採火した種火を集める集火式を開催。

※組織委員会が作成した「新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」則り、対策を講じた上で実施。

【聖火リレールート】

等々力陸上競技場をスタートし、等々力緑地周辺、中原街道を通り、武蔵中原駅手前の約3.2kmを聖火ランナーが走行。

【本市を走行する県実行委員会推薦ランナー】

・五島シズさん(本市在住、認知症カフェ等で活動)

・佐々木彩夏さん、玉井詩織さん、高城れにさん

(ももいろクローバーZ、メンバーで走行)

・アレックス・ラミレスさん(前横浜DeNA監督)



英国事前キャンプ関係

英国オリンピック代表チーム事前キャンプ受入れ概要

事前キャンプ期間：令和3年7月8日（木）～8月5日（水）
（セットアップ期間 7月2日（金）～7日（水））
受入れ競技：陸上競技（7月14日～8月2日）、サッカー（7月8日～17日）
7人制ラグビー（男子：7月15日～21日・女子：7月18日～24日）



英国パラリンピック代表チーム受入れ概要

事前キャンプ期間：令和3年8月14日（土）～9月2日（木）
（セットアップ期間 8月11日（水）～13日（金））
受入れ競技：陸上競技（8月11日～29日）



● 英国代表チーム受入れ支援

● 事前キャンプ受入れ事務局の運営

川崎市・横浜市・慶應義塾大学の三者が合同で英国代表チームを受け入れることから、等々力陸上競技場での選手・スタッフ受入れ業務に加え、情報の一元化・業務の効率化等を目的に、英国代表チームの宿泊、移送、検査などの管理・運営のための共同事務局を設置し、総合的な受入れ体制の充実を図る。

● 英国代表チーム川崎キャンプサポーター（ボランティア）事務局の運営

- 一 等々力陸上競技場及び宿泊施設等で活動する本市サポーター（4月1日時点で198名）が安心・安全に、やりがいを持って選手・スタッフをサポートすることができるよう、事前研修や専用SNSを活用した連絡・調整などを通じ、英国代表チームの最新情報や新型コロナウイルス感染症対策に関する情報等の共有を行う。またキャンプ終了後も記録報告会などを通じ活動内容を共有・発信することで、成果を市民へ還元していく。
- 一 サポーター登録に至らなかったものの継続して英国情報の提供を希望する「GOGB!かわさき応援パートナー」（2月末日時点で約240名）に対し、英国代表チーム情報や広報・プロモーションに関する情報提供を行う。

● BOA/BPAとの契約に基づく交流事業等の実施

- 事前キャンプ期間中の公開練習や選手・スタッフとの交流事業の実施（交流事業は新型コロナウイルス対策のためオンライン開催が原則）
- 映像や写真等による事前キャンプ受入れの記録・保存、市民向け報告や、英国へ向けた事前キャンプ受入れにかかる取組の発信によるオリ・パラの思い出・経験値の共有

● 「ホストタウン等新型コロナウイルス感染症対策事業」に基づく取組の実施

- 事前キャンプ受入れ期間中の新型コロナウイルス感染防止策をとりまとめたホストタウン受入れマニュアルを作成し、マニュアルに沿った各受入れ場面における具体的な取組を実施する。（詳細別紙）

● 広報・プロモーションに関する取組

● 英国代表チーム応援ツアー（新規）

市民がオリンピック・パラリンピック大会期間中に、英国代表チームを競技場で応援するツアーを実施。ホストタウンチケットとして、オリ陸上競技30枚(8/6)、パラ陸上競技30枚(8/31)を確保済み。追加については、今後の一般向け再販売の状況による。

● 英国関連写真展（新規）

市民から英国に関連した写真をエピソード付きで募集し、ホームページ・Twitter等で発信するとともに、市内公共施設（各区役所、市民館）等で巡回展を実施する。
募集期間：2021年4月5日～5月21日（金）

● シティドレッシング※、キャンプ施設への装飾の実施（拡充）

英国代表チーム応援の一環として、等々力陸上競技場のサイドスタンド装飾やウェルカムゲートの設置等を実施

※シティドレッシング
大型ポスターやフラッグ等を掲出して街全体を装飾すること。



シティドレッシング

- 広報啓発及び応援グッズを活用したプロモーション（継続）
- Web広告等を活用した効果的な情報発信（継続）
- 市内イベントへのブース出展及び生田緑地ばら苑での英国文化体験を実施（継続）
- 英国代表チーム川崎キャンプ推進協議会による事前キャンプ等のサポートを実施、選手名鑑・ホストタウンフレーム切手の製作（継続）



グッズ（ポスター）



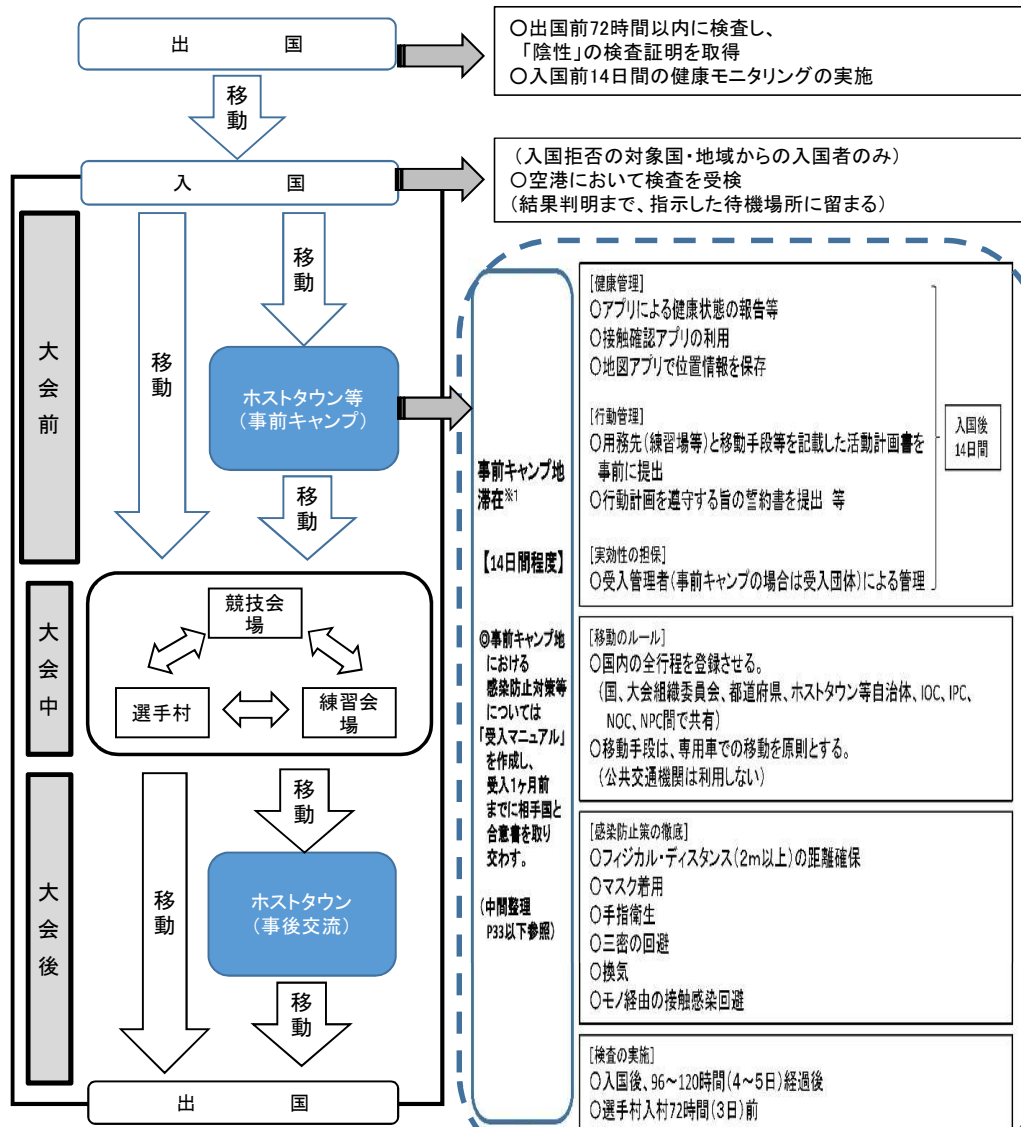
ブース出展



ホストタウン切手

1 選手への対応の基本的な考え方

- 競技会場や選手村等、大会期間中の対応だけでなく、出入国管理、検査を含めた健康管理、移動、ホストタウン等での事前キャンプ・事後交流、医療体制の確保など、入国～大会～出国まで、それぞれの場面ごとの感染症対策を行う。
- 選手との接触は必要最小限とし、接触する相手方も検査等により防疫措置を講じる。



2 英国代表チーム事前キャンプの受入れについて

- 選手等の受入れにあたっては、ホストタウン(事前キャンプ受入れ自治体)等は、新型コロナウイルス感染防止策をまとめた「受入れマニュアル」の作成が必須となっている。

「受入れマニュアル」記載事項

1 基本的事項

- ・選手等の行程表の策定(滞在場所、移動経路)
- ・感染防止の基本原則の策定(三密回避、社会的距離、マスク、手洗い・消毒など)
- ・選手等の滞在先・用務先、移動手段についての制限・行動ルールの策定
- ・パラ選手については、障害の度合い・種類に応じた必要な配慮 等

2 各場面における主な対策

- (1) 移動 域外・域内:原則専用車両
- (2) 宿泊 他の宿泊客との接触を避けるための措置など
- (3) 食事 個別又は小分け提供 等
- (4) 練習 消毒の徹底、飛沫対、換気・三密回避、適切な競技別対策の実施
- (5) ホストタウン交流(国は、大会後交流を一層推奨)
 - ・来日～東京大会出場前(事前合宿時):原則、公開練習見学、オンライン交流(接触なし)

3 選手等の健康管理、行動管理

- ・選手等の滞在時、健康状態、接触状況、位置把握
- ・選手等の行動を、用務先(競技会場、練習会場等)と宿泊場所の往復のみに限定

4 検査

- ・選手等・ホストタウン等関係者へ必要な検査実施
- ・検査結果の関係者との速やかな共有

5 感染疑い者等発生時の対応

- ・都道府県や保健所と連携して、感染疑い者・陽性者発生時の対応フローを定め、周知
- ・感染疑い者等発生時に、相談・連絡、診察・検査、入院・搬送等の必要な措置を取る など

6 関係者調整、連絡体制(特に医療・保健関係)

- ・都道府県や保健所、医療機関等との連携体制構築
- ・「組織委員会感染症対策センター(仮称)」等との 情報共有・連携 など

横浜市、慶應義塾大学及び英国代表チームとの協議・調整を踏まえ、

- 等々力陸上競技場における感染防止対策
- 英国代表チーム選手やスタッフを除く、事前キャンプ従事者に対する必要な検査の実施方法等の検討
- 感染疑い者発生時の相談体制や陽性者発生時の対応フロー などマニュアルを作成のうえ、入国2カ月前までに内閣官房へマニュアルを提出(BOA:5月上旬、BPA:6月中旬)

【参考】

- ・スポーツ庁「ホストタウン等新型コロナウイルス感染症対策事業」の補助金が県へ交付
- ・国から交付される補助金を原資に県は、基金を設置し、県の基金から市へ配分(補助率10/10)
- ・対象は検査経費、車両借上げ・アテンド経費、保健所の体制強化など(宿泊経費、選手・スタッフ検査費用、病床確保経費については、県・横浜市で計上)